



どこにいても仮想現実空間を体験できる、最新鋭の360° ヴァーチャルストリーミング
ライブ「360° VIRTUAL MUSIC FES」を8/9に開催!!

ライブを更にリアルに体感出来るオリジナルのビューアー「ハコスコ」を全国のGapストアで限定配布



2016年夏、Gapが手掛けるミュージックプロジェクト「1969 RECORDS」***は、画期的な手法で音楽を体感できるライブストリーミングフェス「360° VIRTUAL MUSIC FES（360° ヴァーチャル ミュージック フェス）」を2016年8月9日18時より開催致します。本キャンペーンのクライマックスを飾る「360° VIRTUAL MUSIC FES」は、先の「SUMMER MUSIC LOOKBOOK」に登場したアーティスト4組による、ライブストリーミングフェス。ストリーミングでは、通常のライブ映像でアーティストのステージングを楽しめるのは勿論のこと、さらに、ステージ上に最新技術360°を撮影できるカメラを設置。専用のチャンネルを覗けば、誰でも好きな場所にいながらにして、まるで、メンバーと共にステージ上にいる様な臨場感あふれるハイスペック映像をリアルタイムに肌で感じる事が出来ます。

さらに、「360° VIRTUAL MUSIC FES」を全身で楽しむ事ができる、オリジナルのビューアー「ハコスコ」を全国のGapストアで限定配布中。楽しみ方は簡単。ハコスコを組み立て後、お手持ちのスマートフォンとイヤホンを装着。Gapスペシャルサイトを覗けば、顔の動きにあわせ視界が自在に変化。一気に仮想現実(VR)の世界に迷い込んだような映像美を体感出来ます。本オリジナルハコスコは、お近くのGapストアにて、5,000円(税込)以上お買い上げの上、レジにて「1969」とお声掛け頂けた方のみ手に入れる事ができる数量限定のシークレットプレゼントとなっています。

Gapがこの夏、“デニム”と“音楽”に焦点を当て提案する「1969 RECORDS」の集大成。最新技術“VR (Virtual Reality)”を駆使した「360° VIRTUAL MUSIC FES」の世界に飛び込んで、驚きに満ちたエキサイティングな世界を体験してみて下さい。

「360° VIRTUAL MUSIC FES」の出演アーティストは、以下の4組。

Awesome City Club (オーサム・シティー・クラブ)

2014年4月結成。架空の街“Awesome City”のサウンドトラックをテーマに、テン年代のシティ・ポップをAwesome CityからTOKYOに向けて発信する男女混成5人組。2015年4月、1stアルバム「Awesome City Tracks」をリリースし、iTunesロックチャートで1位を獲得。クラウドファンディングやVRなど最新のテクノロジーを積極的に駆使した試みが話題を呼んでいる。2016年6月22日には3rdアルバム「Awesome City Tracks 3」をリリース。

HAPPY (ハッピー)

2012年1月、京都府綾部市出身の幼馴染み5人組により結成。60年代を彷彿とさせるどこかサイケデリックな音と、全員が複数のパートを担当し自由な発想で創られた楽曲が口コミで広まり、デビュー前にして2013年SUMMER SONICに出演となる。2014年3月3日リリースの初流通シングル「SUN」では、MTV[HOTSEAT]に選出され、タワーインディーチャート初登場1位（総合チャート3位）を記録し、翌年2月には、スペースシャワー列伝 JAPAN TOUR 2015ツアーパートに参加。数々の国内大型フェスに留まらず、アメリカやアジアでも精力的にツアーと行う等、今、最も期待を集めているバンド。

never young beach (ネバー・ヤング・ビーチ)

2014年春結成後、ダンボール仕様のジャケット、インディ・サイケ・ポップ「HOUSE MUSIC」を100枚の限定販売し即完売。そのミステリアスな楽曲から、ライブ活動以前から口コミで話題となる。2015年5月にリリースした1stアルバム「YASHINOKI HOUSE」は、上半期の“CDショップ大賞”にノミネートされ、FUJI ROCK FESTIVAL'15に出演。土着的な日本のフォークサウンドのDNAの継承と、西海岸の日差しと乾いた土を想起させる楽曲は、ゆるい心地よさと、どこか懐かしさ体感する。現在のインディーズシーンの最重要バンドの一つ。2016年6月8日にはニューアルバム「fam fam」をリリース。

雨のパレード

2013年結成。2015年にリリースした「new place」がSSTVのローテーション「it」に選出、iTunesでも大展開されるなど、インディーズながら耳の早い音楽ファンの間で広まり話題に。1月にインディーズでのラストシングルとして発売された『Tokyo』はSSTVの「it」を始め、MTV「Hot Sheet」、各地のラジオでも続々とローテーションを獲得、2月～3月にかけて開催された「スペースシャワー列伝 15周年記念公演 JAPAN TOUR 2016」にも抜擢され、ライブパフォーマンスやその存在感が大きな話題となる中、3月2日1stフルアルバム『New generation』でメジャー・デビュー。Vo.福永浩平の声と存在感、そして独創的な世界観は中毒性を持ち、アレンジやサウンドメイキングも含めまさに“五感を感じさせる”バンドとして注目されている。



Awesome City Club



HAPPY



never young beach



雨のパレード

.....
1969 RECORDS 360° VIRTUAL MUSIC FES

DATE : 2016年8月9日 / **OPEN :** 18:00 / **START :** 18:30-

ARTIST : Awesome City Club / HAPPY / never young beach / 雨のパレード *順不同

*出演アーティストはキャンセル・変更になる場合があります

オリジナルハコスコ限定配布

*全国のGapストアにて5,000円(税込)以上、お買い上げのお客様

*お会計の際、ストアスタッフに「1969」とお声掛け頂いたお客様

*無くなり次第終了

『GAP 1969 MAGAZINE』 360° VIRTUAL MUSIC FES Special Site

<http://www.gap1969.jp/records/summermusic2016/fes/>

*本ライブ映像は、360° VIRTUAL MUSIC FES Special Siteにて、後日アーカイブを公開致します

*** 「1969 RECORDS」

2016年夏、Gapは、ブランドのルーツである“デニム”と“音楽”に改めて着想。ミュージックプロジェクト「1969 RECORDS (1969・レコード)」をローンチさせました。

1969年8月15日に開催され、60年代アメリカのカウンターカルチャーを象徴する歴史的なイベントとなったウッドストック・フェスティバルと時を同じくして、同年8月に産声を上げたGapは、サンフランシスコのオーシャンアベニュー沿いにデニムとレコードを扱う小さなセレクトショップとしてスタートしました。「INDIVIDUAL (個性)」を尊重し、幅広く展開するデニムと、最新の音楽に包まれた店内は、事態にあわせモダンに進化し続け、ブランドのアイコン「1969 DENIM」とともに、後に訪れる様々なカルチャーに常に密接に寄り添い続けています。

この夏、そんなブランドの背景を体現すべく生まれたミュージックプロジェクト「1969 RECORDS」。6月よりローンチした本プロジェクトは、アメリカを体現する新進気鋭のアーティスト5組が、本プロジェクトの為に特別に撮り下ろしたオリジナルのミュージックビデオとデジタルルックブックをお届けする「SUMMER MUSIC LOOKBOOK (サマー ミュージック ルックブック)」にはじまり、夏の想い出の写真を使って、自分だけのミュージックビデオが作れる「SUMMER MOVIE MAKER (サマー ムービー メーカー)」などのコンテンツをスタート。シーズンを通して、ブランドのDNAである“デニム”と“音楽”をキーワードに、Gapの夏を盛り上げてきました。